

■ 各大学の理念、特色を生かして教育・研究、地域貢献、国際学術交流等を推進 ■

津田塾大学と包括連携協定を締結

～ ライティング／キャリア支援や学部連携・研究所連携、ゼミ間交流等の実施を目指して ～

このたび関西大学（大阪府吹田市）と津田塾大学（東京都小平市）は、より活発な相互交流を推進するため、幅広く連携を強化していくことで合意に達し、4月18日（火）に包括連携協定を締結しました。

本協定は、両大学の理念、特色を生かした大学間連携を通じて、相互の教育・研究の一層の進展をめざし、産学連携や地域社会への貢献活動、国際学術交流その他の諸活動を積極的に推進することにより、優れた人材の育成と真理の探求という大学本来の使命を実現し、地域社会ひいては国際社会の発展に寄与することを目的としています。関西大学では、国公私立各大学と各種協定を締結して連携を推進しており、包括連携協定締結は大阪大学、大阪府立大学、早稲田大学などに次いで7例目となります。一方、津田塾大学は主に単位互換制度において他大学と連携を行っていますが、包括連携協定締結は初めてとなります。

両大学は、東京と大阪という我が国の都市部に位置する私立の総合大学として、ともに長い歴史を重ねてきました。その中で、2012年に文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に共同採択されたライティング支援の取組みを契機として、教育に関する実質的な連携が深められてきました。このたびの包括連携協定は、それらの取組みを含めた今後の活発な交流の推進に寄与するものでもあります。



協定締結時の様子

（左：関西大学 芝井敬司 学長、
右：津田塾大学 高橋裕子 学長）

（津田塾大学 高橋 裕子 学長 挨拶コメント）

大学間連携共同教育推進事業に採択されて以来、両校でライティング支援とキャリア支援を融合させ、幅広い発信力を育てるライティングセンターを目標に取り組みできました。本協定締結により、その成果がより一層の教育研究活動の充実や学術の発展、有為な人材の育成に寄与することを心より願っています。

（関西大学 芝井 敬司 学長 挨拶コメント）

それぞれ長い歴史をもった両校がお互いをリスペクトし、新しい時代に情報交換しながら連携事業に取り組みます。ライティング教育の拡大・発展を柱に、リソースや人材など、協力分野をお互いづくりあげていきたいと考えています。また、津田塾大学の英語教育のノウハウ活用や、国内留学も検討していく予定です。

今後は、これまで取り組んできたライティング／キャリア支援体制の継続実施、図書館等各施設の相互利用、ゼミ間交流の推進、学部間でのカリキュラム連携、研究所における連携、公開講座・シンポジウムの共同開催、人事交流など、両大学の理念、特性を生かした教育・研究、地域貢献、国際学術交流等を推進していきます。

以上

【添付書類】津田塾大学・関西大学 連携協力協定 趣意書

※写真をご入用の方は、お手数ですが kouhou@ml.kandai.jp 宛にご請求ください。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課

担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

津田塾大学・関西大学 連携協力協定 趣意書

津田塾大学
関西大学

津田塾大学と関西大学は、このたび、より活発な相互交流を推進するため、幅広く連携を強化していくことについて合意いたしました。

両大学は、「文部科学省 大学間連携共同教育推進事業（平成 24 年度採択）」を契機に、主体的に考え行動できる有為な人材育成の実現にむけたライティング／キャリア支援体制の構築をテーマに、2016 年度までの 5 年間にわたり連携を深めてまいりました。当該事業の活動及び成果を踏まえ、教育理念・規模・地域など多くの異なる個性を持つ 2 つの大学が、互いの特色と強みを融合させることにより、一大学単独の取り組みや努力だけでは得られない高い相乗効果が期待されます。

更なる交流の推進と、そこから生まれる教育や社会への貢献に役立つ新たな成果を実現すべく、両大学は新たに包括連携協定を締結するに至った次第です。

津田塾大学は、1900（明治 33）年、日本初の女子留学生の一人である津田梅子によって創設された女子英学塾を前身としています。「幅広い視野をもち、自立して社会に貢献するオールラウンドな女性を育成する」という創設者の理念を今も受け継ぎ、質の高い英語教育と少人数教育により、さまざまな分野で活躍する女性を輩出しています。伝統あるリベラルアーツ教育を展開してきた学芸学部は、英文学科、国際関係学科、数学科、情報科学科の 4 学科で構成されています。2017 年 4 月には、女子大学としては初の「総合政策学部」を新たに設置しました。総合政策学部では課題解決能力とリーダーシップを備えた女性の育成を目指しています。

また、関西大学は、明治政府から招聘されたボアソナード博士の教えを受けた井上操、小倉久、堀田正忠らの司法官と、自由民権運動家の吉田一士らの連携によって、1886 年に設立された関西法律学校を前身とします。現在は大阪府内に 4 つのキャンパスを有し、131 年の歴史のなかで卒業生は約 44 万人にのびます。13 学部、13 研究科、3 専門職大学院、留学生別科に合計 3 万人を超える学生と、8 つの併設校を擁する関西屈指の総合大学です。「正義を権力より護れ」の精神の下、学是である「学の実化（じつげ）」（学理と実際の調和）を今日に受け継いでいます。社会の中で困難を克服することのできる「考動力」と、新たな価値を創造し、多様性を生み出すことのできる「革新力」を備えた人材の育成を目指しています。

両大学は、それぞれの大学の理念、特色を活かした大学間連携活動を通じて、相互の教育・研究の一層の進展をめざし、産学連携や地域社会への貢献活動、国際学術交流その他の諸活動を積極的に推進することにより、優れた人材の育成と真理の探究という大学本来の使命を実現し、地域社会ひいては国際社会の発展に寄与することを目的に、ここに包括連携協定を締結するものです。

2017 年 4 月 18 日